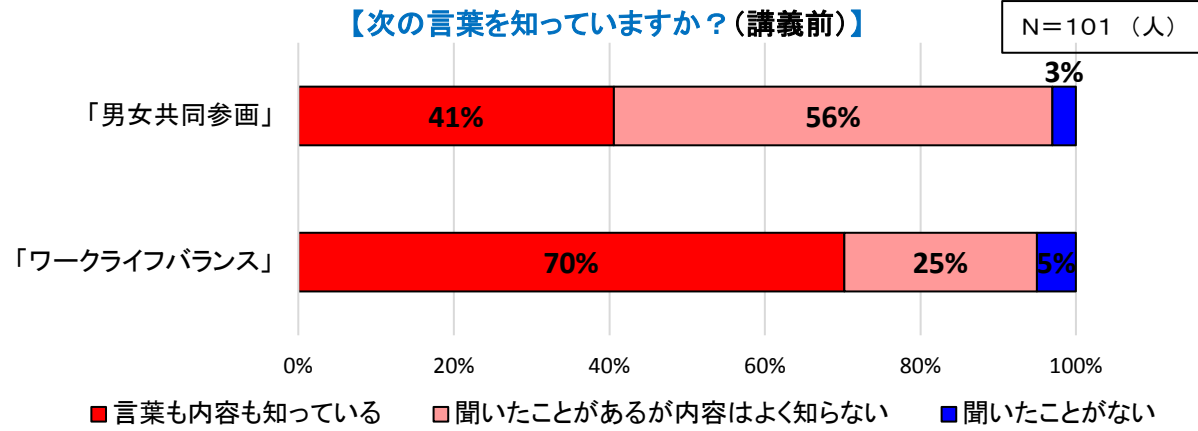


<2022年度 医と社会Ⅲ学生キャリア講習会 講義前後アンケート結果>

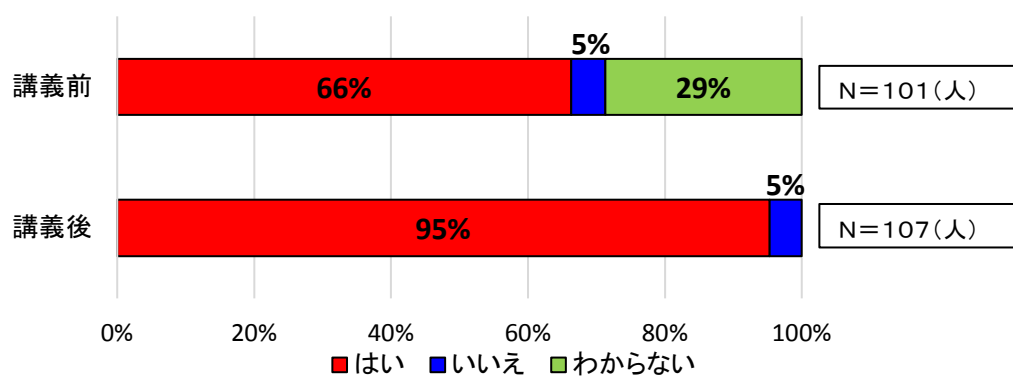
【次の言葉を知っていますか？(講義前)】



●2022年度の受講予定者124名(男性85名、女性39名(女性の割合31%))のうち、アンケート回答者は、講義前101名、講義後107名でした。「ワークライフバランス」の言葉も内容も知っている割合は70%で3年連続過去最多を更新しており、年々関心が高まっているといえます。

●現時点での将来の不安については、「不安がある」割合が講義前56%→講義後44%で講義前に比べると減少しています。また、講義後に「講義前と比べて不安が減った・不安がなくなった」と回答した割合は59%で、学生の半数以上は、不安を抱えながらも本講義で不安を軽減できたようです。将来に対する不安の内容(複数選択)で一番多いのは、「勤務地」が18%、次に「キャリア形成」と「仕事と生活の両立」が共に16%、「診療科の選択」が15%で続きました。

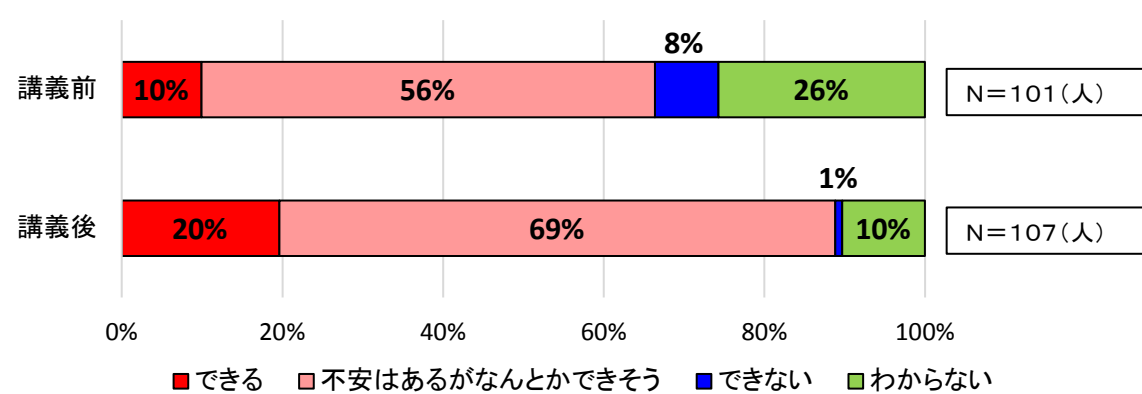
【自分も育休を取ってみたいですか？】



●「産休」「育休」の言葉はそれぞれほぼ100%の割合で認知され、男性も育休を取ることができると知っている学生も99%と高い割合でした。講義後の「自分も育休を取ってみたい」学生の割合は95%(男性95%、女性97%)でした。講義を受ける前から、育休取得を考える学生が性別を問わず年々増えています。

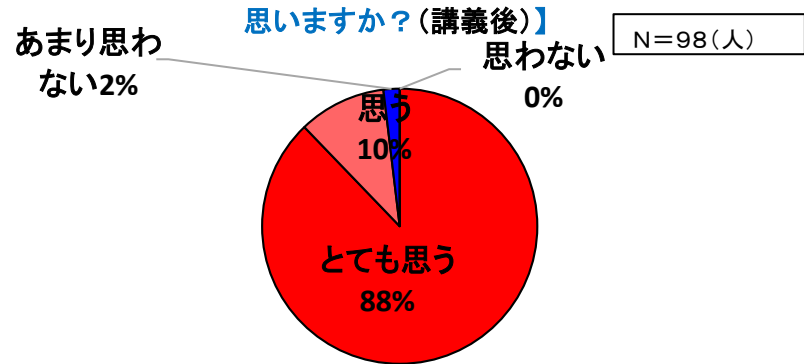
●将来の進路を決定する時に重視するもの(3つまで選択)のランキングは、講義前:1位「仕事の内容」2位「雰囲気の良い科」3位「その領域の研究に興味がある」、講義後:1位「仕事の内容」2位「雰囲気の良い科」3位「希望するライフスタイルが得られる」でした。講義後は、仕事と生活の両立を重視する学生が増えました。

【医師や研究者になって結婚・子育てするようになった場合、仕事と生活を両立できると感じますか？】

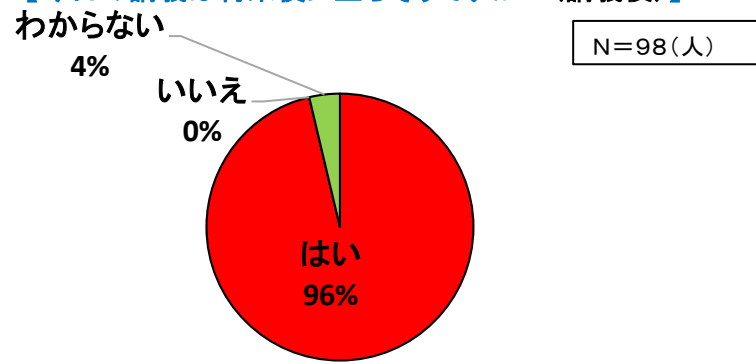


●仕事と生活の両立については、講義の前後で「できる」前10%→後20%、「なんとかできそう」前56%→後69%へと増加して、講義後の両立への自信は89%と高い割合に到達しました。「できない」「わからない」の割合はいずれも講義後に減少し、また、「今回の講義が将来役に立ちそうだ」と答えた学生は96%となり、講義の意義があったと感じました。

【ワークライフバランスの考え方は重要だと思えますか？(講義後)】



【今日の講義は将来役に立ちそうですか？(講義後)】



●学生からは以下のような感想がありました。

- ・人のために思う医師といえども自分たちの生活は大切にしなければと思った。
- ・様々な先生のお話を聞くことができたので、より具体的に自分の将来を考えることができた。グループワークでは、同じ事例でも自分とは違った視点の問題点が出てきたので、面白かった。
- ・仕事の話聞く機会は今までもあったが、医師のプライベートの話聞ける機会は今までなかなかなかった。将来を考えるきっかけになったと思う。
- ・実際に子育てをされている先生方のお話がリアルでとても身にしみた。たくさんの先生のお話が聞けてよかった。
- ・ワークライフバランスの考え方を、実際の医師の方々の実体験を交えながら学ぶことができた。今日の授業まで、こうしたことは考えていなかったもので、これから少しずつ考えていけると良いと思う。
- ・医療関係はどうしても多忙でパートナーへの負担が大きい職業であると偏見を持っていたが、いまはワークライフバランスを重視した将来に期待できるようになった。
- ・男性だからとか女性だからという考えがなくなってきている(そういう人もまだいるが)という現状があることがすごく良いことだと思う。僕も将来パートナーと協力して仕事と家庭の両立ができればと思う。
- ・医者として働いている先輩方も周囲の人に助けられて仕事と家庭を両立させているとわかった。今回の講義が聞いて良かったと思う。
- ・ワークライフバランスについて考える機会はこれまで何度かあったが、今回ほど現実的なのは初めてだった。特にロールモデルとなる先生のお話を聞いたことはとても良かった。
- ・長崎大学はいろいろな先生方が仕事と家庭を両立していて凄く良い環境だなと思った。ただ、自分は実家の都合上、福岡に帰らないといけないので福岡ではどの病院がワークライフバランスを重視しているのかネットで調べようと思ったが、正直どの病院がどの感じなのかを自分だけで把握するのは大変でできるかどうかには不安が残る。
- ・特に男性は取りにくいイメージのあった育休であったが自分の生活のためにも必要であり、また取りやすくなってきていることがわかりとても安心した。
- ・キャリアプランをしっかりと考えた経験が乏しかったので、改めて考えてみて、将来について何も考えてなかったことに気づかされ、不安が増したので、これからしっかり考えようと思う。